

令和5年度秋期 システム監査技術者試験合格発表 分析コメント

(株) アイテック IT人材教育研究部 2023,12,22

10月8日（日）に行われた令和5年度秋期の情報処理技術者試験について、応用情報技術者ほか高度系5試験の合格発表がありました。IPAから発表された得点分布など統計データの分析結果をもとにして、システム監査技術者試験の分析コメントをお知らせします。

■システム監査技術者試験（AU）

〔令和5年度秋期 システム監査技術者試験 統計情報〕

応募者	2,851 人
受験者	2,039 人
合格者	335 人
合格率	16.4 %

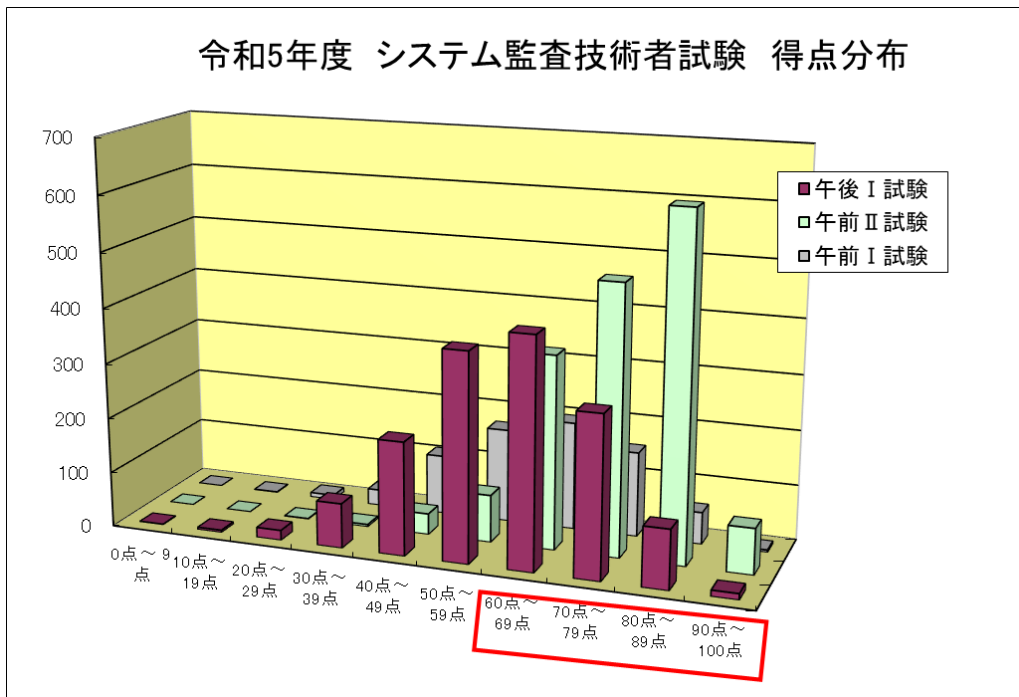
令和5年度秋期のシステム監査技術者試験の合格率は16.4%で、前回の15.9%から微増ですが、平成21年から始まった現在の試験制度では、最も高い合格率となりました。

次に発表された得点分布の分析とグラフを示します。

〔令和5年度秋期 システム監査技術者試験 スコア分布〕

得点	午前Ⅰ試験	午前Ⅱ試験	午後Ⅰ試験	午後Ⅱ試験	合格者
0点～9点	0	0	1	D 42	
10点～19点	1	0	4	C 75	
20点～29点	8	1	18		
30点～39点	29	4	81	B 364	
40点～49点	108	38	205		
50点～59点	170	86	375		
60点～69点	196	349	413	A 335	
70点～79点	154	484	291		
80点～89点	58	617	107		
90点～100点	4	83	11		
計	728	1,662	1,506	816	335
対前試験比率		228.3%	90.6%	54.2%	41.1%
午前免除者（概数）	1,311	64.3%			

合格者数	335	採点者数の割合	合格者数との差
午前Ⅰ 60点以上合計	412	56.6%	77
午前Ⅱ 60点以上合計	1,533	92.2%	1,198
午後Ⅰ 60点以上合計	822	54.6%	487
午後Ⅱ-A 評価	335	41.1%	0



午前 I 試験免除の人も増えてきましたが、得点分布を分析してみると、今回午前 I 試験の免除者は概算で1,311人（64.3%）おり、受験者の約4割の人が午前 II からの受験となっています。

この午前 I 試験で基準点60点以上取ることができた人は412人（受験者の56.6%）でした。午前 II 試験で基準点以上の方は1,533人（受験者の92.2%）で前回の75.2%からかなり増えています。午後 I で基準点（60点）以上取れた人は54.6%で、前回の56.8%から微減です。午後 II で合格点のA評価だった人は41.1%で、前回試験の45.8%と比べてこちらも減少しました。

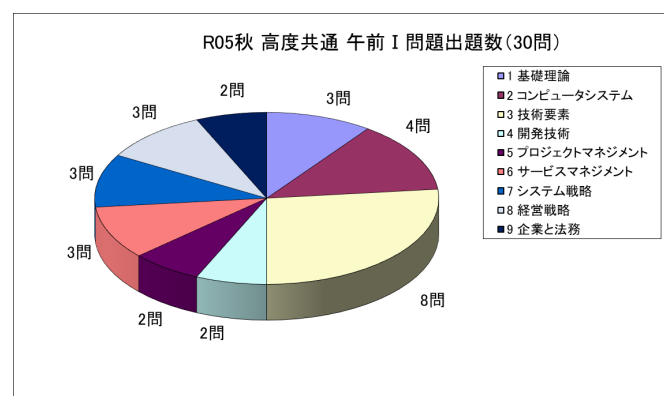
■ 令和5年度秋期 システム監査技術者試験の出題内容について

（午前 I 試験（高度試験の共通知識問題））

高度試験で共通して出される午前 I 試験の30問は、従来どおり、すべて応用情報技術者試験（AP）の午前試験80問の中から選ばれていて、テクノロジー系17問（57%）、マネジメント系5問（17%）、ストラテジ系8問（26%）という出題比率です。

午前 I 試験には免除制度がありますが、高度試験の約4～5割の人が午前 I 試験から受験しています。この中で60点以上の得点で午前 II 試験の採点に進む人は5～6割で、出題範囲が広いため試験問題を難しく感じる人が結構多いといえます。問題が難しいときには4割程度の人しか通過できないときもあったので、最初の午前 I 試験でつまづかないように、早めに試験対策の学習を始め、確実に知識をつけていく必要があります。

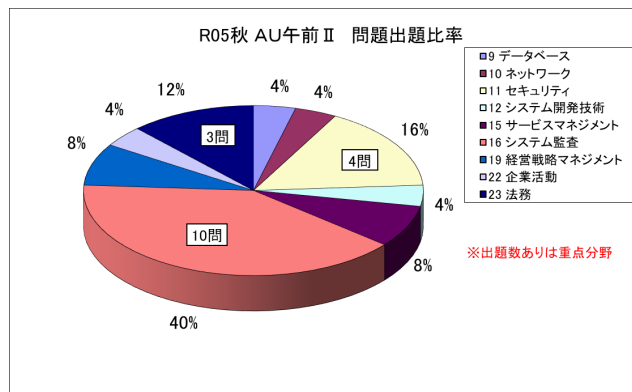
- ・ 今回の午前 I 試験の内容は、約6割が過去問題でしたが、定番問題が減り、少し難しい問題が多かったといえます。
- ・ 重点的に出題されるセキュリティ分野の出題数は前回と同じ4問で、最も多い出題数です。
- ・ 新傾向問題は5問で前回の3問から増えています。



〔午前Ⅱ試験（専門知識問題）〕

監査の専門分野からの出題数は前回と同じ10問で、このところ同じ出題数が続いています。システム監査の事例では、ネットワークやセキュリティの技術を理解している必要があるものが多いので、不足している知識を日頃から身につけていく学習が必要です。また、レベル4で出題されることになったセキュリティの問題は前回と同じ4問出題されました。過去のシステム監査技術試験問題の出題は10問でした（前回と同じ）。複数の年度から選ばれていますが、令和3年度の試験から4問と最も多く出題されていました。

システム監査基準が令和5年4月に改訂されましたが、今回の試験までは平成30年版で出題され、次回の試験から新基準で出題されます。このため、新しいシステム監査基準／管理基準、および各基準の新しいガイドラインについて、ひとつお読み読んで理解してください。



〔午後Ⅰ試験〕

午後Ⅰ問題の出題内容は、問1がセキュリティ関連基準と技術の監査、問2がシステムの企画・開発の監査、問3が情報セキュリティの監査でした。問1と問2は、やや限定された内容の出題で少し難しい問題でした。

午後Ⅰ試験で取り上げられた新しい題材として、クレジットカード業界のセキュリティ基準であるPCI DSS（問1）、ローコード／ノーコード開発（問2）、DX推進スキルを持つ人材の登録とタレント管理（問3）がありました。日頃から新しい業界動向や技術、標準・基準など理解するようにしてください。

〔午後Ⅱ試験〕

午後Ⅱ問題の出題内容は、問1がデータ利活用基盤の構築に関するシステム監査で、データサイエンス技術を活用した定性データ分析に関する記述が求められる問題でした。問2はサイバーセキュリティ管理態勢に関するシステム監査で、DXの取組拡大に伴うサイバーセキュリティリスクの高まりを背景とした問題です。この問2は令和4年度の間2と同様に「体制」ではなく「態勢」である点に注意して記述することが必要です。